

して昔の賢人を
友にすること



兎に角、宮沢賢治ほど、ミステリアスな魅力に満ち、得体の知れないスケールを感じさせる作家は他にいない。

全く無名で売れぬ作家であつた彼は、37歳でこの世を去るまでに、およそ千編もの著作を遺した。しかし、それらの内、生前に世に出すことが出来たのは詩集と童話集の各一冊ずつのみだつた。死人に口なしである。遺作にみられる数々の謎は永遠の謎となつてしまつた。だが、今となつては、その謎めいたところが賢治文学をより魅力あるものにしていると考えるしかない。

を超えて、意味不明な表現もあればストーリーのつじつまが合わないものもある。これらの謎を解く力は、賢治が有していた特殊な能力と作品の創作法にあるに違いない。その能力とは、ひとつの刺激に対し、複数の五感が同時に反応を示す共感覚といわれるものである。この能力を持つ者は、音に味や肌触りを、色に匂いを感じたりするという。賢治文学には、耳から聞いた

The image shows the front cover of a Japanese book titled '風の又三郎' (Kaze no Niisan) by '黒田清漁' (Kuroda Seizan). The cover features a traditional woodblock-style illustration of a man with a long white beard and a pinkish-purple robe, standing in a landscape with trees and a path.

宮沢賢治を
読むと、一体
どうやってこ
んな人名や地
名を考え付く



『読書尚友』つづけます

当広報誌と同時にスタートした「読書尚友」も今回で当初目標とした60回となりました。その間、お手紙やお電話も幾つか頂戴いたしましたこと衷心より感謝申し上げます。

さて、これからですが、今回で終わることなく、あと何とか 20 回くらいは続けてみようと思っております。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

作家變人番付

これまで書いてきて感じたのは、作家という存在は、変人だらけということです。何れも甲乙付け難い変人 60 名の中から、私なりの「変人番付表」を作成してみました。

合後とも、この欄を通じ麥人とのお付き合いの程よろしくお願ひ申し上げます。

<p style="text-align: center;">西</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>横綱</th> <th>太宰治</th> <th>坂口安吾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横綱オスカーワイルド</td> <td>小説 谷崎潤一郎</td> <td>小説 森鷗外</td> </tr> <tr> <td>大関ドストエフスキイ</td> <td>小説 三木清</td> <td>小説 モーム</td> </tr> <tr> <td>開拓 ピアス</td> <td>小説 マルクス</td> <td>小説 モーム</td> </tr> <tr> <td>小説 ルソー</td> <td>小説 モーム</td> <td>小説 モーム</td> </tr> </tbody> </table>	横綱	太宰治	坂口安吾	横綱オスカーワイルド	小説 谷崎潤一郎	小説 森鷗外	大関ドストエフスキイ	小説 三木清	小説 モーム	開拓 ピアス	小説 マルクス	小説 モーム	小説 ルソー	小説 モーム	小説 モーム	<p style="text-align: center;">東</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大関</th> <th>島崎藤村</th> <th>横綱永井荷風</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小説 坂口安吾</td> <td>小説 森鷗外</td> <td>小説 三木清</td> </tr> <tr> <td>小説 谷崎潤一郎</td> <td>小説 モーム</td> <td>小説 モーム</td> </tr> <tr> <td>小説 三木清</td> <td>小説 モーム</td> <td>小説 モーム</td> </tr> <tr> <td>小説 モーム</td> <td>小説 モーム</td> <td>小説 モーム</td> </tr> </tbody> </table>	大関	島崎藤村	横綱永井荷風	小説 坂口安吾	小説 森鷗外	小説 三木清	小説 谷崎潤一郎	小説 モーム	小説 モーム	小説 三木清	小説 モーム	小説 モーム	小説 モーム	小説 モーム	小説 モーム
横綱	太宰治	坂口安吾																													
横綱オスカーワイルド	小説 谷崎潤一郎	小説 森鷗外																													
大関ドストエフスキイ	小説 三木清	小説 モーム																													
開拓 ピアス	小説 マルクス	小説 モーム																													
小説 ルソー	小説 モーム	小説 モーム																													
大関	島崎藤村	横綱永井荷風																													
小説 坂口安吾	小説 森鷗外	小説 三木清																													
小説 谷崎潤一郎	小説 モーム	小説 モーム																													
小説 三木清	小説 モーム	小説 モーム																													
小説 モーム	小説 モーム	小説 モーム																													

- | | | | |
|-----|-------------------|-----|----------------------|
| 1号 | 陰翳礼讃／谷崎潤一郎 | 31号 | キタ・セクスアリス／森鷗外 |
| 2号 | スペードの女王／ブーシキン | 32号 | 老子／老子 |
| 3号 | 留魂録／吉田松陰 | 33号 | 読書について／ショウベンハウエル |
| 4号 | 永久平和のために／カント | 34号 | 方法序説／デカルト |
| 5号 | 堕落論／坂口安吾 | 35号 | たけくらべ／樋口一葉 |
| 6号 | 夜間飛行／サン・テグジュペリ | 36号 | 花伝書（風姿花伝）／世阿弥 |
| 7号 | 徒然草／吉田兼好 | 37号 | 職業としての政治／マックス・ウェーバー |
| 8号 | 般若心経 | 38号 | ラ・ロシュフコー箴言集／ラ・ロシュフコー |
| 9号 | 野菊の墓／伊藤左千夫 | 39号 | 共産党宣言／マルクス、エンゲルス |
| 10号 | はつ恋／ツルゲーネフ | 40号 | 方丈記／鴨長明 |
| 11号 | 小林一茶俳句集／小林一茶 | 41号 | 愛と苦惱の手紙／太宰治 |
| 12号 | 孫子／孫子 | 42号 | 仰臥万録／正岡子規 |
| 13号 | 老年について／キケロー | 43号 | 変身／カフカ |
| 14号 | 小僧の神様／志賀直哉 | 44号 | ゲーテ格言集／ゲーテ |
| 15号 | 悪魔の辞典／ビアス | 45号 | 山月記／中島敦 |
| 16号 | 孤独な散歩者の夢想／J.J.ルソー | 46号 | 養生訓／貝原益軒 |
| 17号 | 人生論ノート／三木清 | 47号 | 人生の短さについて／セネカ |
| 18号 | 澤東綺譚／永井荷風 | 48号 | 李白詩選／李白 |
| 19号 | 白夜／ドストエフスキイ | 49号 | ヴェニスの商人／シェークスピア |
| 20号 | 日暮硯／馬場正方 | 50号 | 北原白秋詩集／北原白秋 |
| 21号 | いのちの初夜／北條民雄 | 51号 | サロメ／オスカーワイルド |
| 22号 | 西郷南洲翁遺訓／旧庄内藩士 | 52号 | 高野聖／泉鏡花 |
| 23号 | 幸福論／アラン | 53号 | オーヘンリー傑作集／オーヘンリー |
| 24号 | 後世への最大遺物／内村鑑三 | 54号 | 遠野物語／柳田国男 |
| 25号 | 脂肪の塊／モーパッサン | 55号 | 雨／サマセット・モーム |
| 26号 | ソクラテスの弁明／プラトン | 56号 | 武士道／新渡戸稻造 |
| 27号 | 歎異鈔／唯円 | 57号 | 隠者の夕暮／ベスタロッチ |
| 28号 | 人はなんで生きるか／トルストイ | 58号 | 千曲川のスケッチ／島崎藤村 |
| 29号 | 学問のすゝめ／福沢諭吉 | 59号 | 君主論／マキヤベリ |
| 30号 | 茶の本／岡倉天心 | 60号 | 浮城物語／宮山天香 |

60号 風の文三郎／宮沢賢治
読書尚友のバックナンバーはホームページにてご覧いただけます。
<http://www.central1961.com/>

せんとらるライナー乗務員室

昨年12月にベトナムから3名の技能実習生がやってきました。礼儀正しく素直で勤勉な好青年ばかりです。彼らの姿勢が会社全体に良い刺激を与えてくれています。今後半年ごとに随時増員の予定です。セントラル建設の新戦力を宜しくお願い致します。



ズオン・ダット・フォン
21歳 20歳 25歳

せんとらるライナー待合室

10回のじゃんけん ?

【59号のこたえ】

17分

解説

- ① A 1分と B 2分が渡る
⇒ 2分
- ② B が戻る ⇒ 2分
- ③ C 5分と D 10分が渡る
⇒ 10分
- ④ A が戻る ⇒ 1分